

仏から被災地に 柔道が結ぶ善意

東日本大震災の支援のため、フランスの柔道団体から寄せられた義援金を元に、市民団体「柔道の輪を世界平和に繋げる会」(奈良県奈良市)が柔道着を作った。関係者は「津波被害にあった柔道部の中高中生に贈りたい」と被災3県で贈り先を探している。

局長(56) 京都府北区 3人
が、フランスのラ・タロディエール市であった年末国際柔道講習会(昨年12月27〜29日)に参加した際、同市と地元柔道クラブから「被災地に渡してほしい」と2千ユーロ(約20万円)を託された。会が「柔道着で贈ったらどうか」と提案。



東日本大震災の復興支援にと、フランスのラ・タロディエール市からメッセージを贈られる「柔道の輪を世界平和に繋げる会」のメンバー(昨年12月、ラ・タロディエール市) ⑤フランスからの義援金を元に用意した柔道着(浜松市) ⑥榊原さん提供

京の男性ら「技あり」仲介 試合着など60着寄贈へ

関係者の承諾を得て、浜松市にある榊原さんの旧知の武道店に相談したところ、「フランスからの好意をそのまま被災地に渡すだけでは」と義援金に上乘せし、試合着と稽古着30着ずつを用意した。

現在、会では被災地の東北3県の教育委員会に問い合わせ、贈り先となる柔道部のある被災学校を数校探している。決まれば武道店で柔道着に学校名を入れ、プレゼントする予定だ。

榊原さんは「柔道をする生徒にフランスからの気持ちを伝えたい。柔道着が縁になり、生徒が将来、ラ・タロディエール市で行う講習会に参加し、フランスの柔道家と交流してくれればうれしい」と話す。

贈り先の提案は創健堂整骨院内の榊原さん
☎075(461)7636へ。(立川真悟)



明日に向かって

東日本大震災